

## 編集 後記

本号では、原著、短報、研究ノート、会員の声をそれぞれ1報ずつお届けしております。原著論文では、戦後から約60年間にわたって、わが国における心血管疾患死亡のコホート効果の動向をAge-Period-Cohort (APC) モデルを用いて分析された結果をご報告頂きました。その結果、心血管疾患死亡率の時代効果は減少している一方で、終戦前後以降に出生した世代において、コホート効果の減少が確認できないことが示されました。心血管疾患死亡率に影響を与える要因について、長期間のダイナミックな変化を知ることにより、今後の課題の一つを示すことができたものと考えます。

短報では、東日本大震災被災地において実施された運動教室の効果を報告されています。現地の公衆衛生活動に従事されている方々にとっても、このように介入の効果をご報告頂くことは、これからの活動の大きな励みになっていらっしゃると思います。

研究ノートでは、新聞紙のテレビ番組表から、自殺・メンタルヘルスに関する報道のあり方を探るというユニークな研究結果を報告しています。

会員の声では、ドイツにおける移民の介護施設に関する紹介がありました。日本ではあまり想像できない言語や宗教などの課題もあるとのことで、興味深く読ませて頂きました。

年度末の時間が経過するのは早いものです。会員の皆様も種々の報告書等の作成にお忙しいこととは存じますが、今月も本誌に目を通す時間を持って頂けると幸いです。  
(郡山千早)

### 次号予告 (第62巻・第3号)

#### 原著

健康指標との関連からみた高齢者の社会的孤立基準の検討

10年間のAGES コホートより……齊藤雅茂, 他

#### 研究ノート

受検者が HIV 感染告知担当者に伝えた感染経路と「実際の HIV 感染経路」との相違についての検討……井上洋士, 他

鳥インフルエンザに対する地域住民と養鶏農家のリスク認知の違い……佐藤祐佳

#### 資料

日本での禁煙ホットライン (クイットライン) の展開と、その方向性……谷口千枝, 他